

# 1 研修医のご紹介

- ① 出身地
- ② 現在興味のある科
- ③ 耳原総合病院を選んだ理由
- ④ 研修に対する思い

あさおか ともひろ  
**麻岡 大裕**  
(大阪市立大学)



- ① 高知県南国市
- ② 感染症内科
- ③ 研修医でもボトムアップ式にシステムを変えていける場所がある、と言うところが一番の魅力を感じました。
- ④ これまでの机の上の医学でなく、患者さんありきの医療をしっかりと吸収していきたいです。

さかもと のりこ  
**坂本 明子**  
(中国医科大学)



- ① 中国瀋陽市 ② 内科系
- ③ 耳原総合病院の近くに長年在住し、地元で病院で研修に専念できると思い、また、病院見学をさせて頂いた時、先生方やスタッフの方がとても優しく、ご丁寧に教えて下さりまして、病棟の雰囲気(アットホーム)もよかったので耳原総合病院を選びました。
- ④ 諸先生方から厳しくご指導を頂く上で、全力を尽くし、早く一人前になりたいと思っています。

はまぐち まさや  
**濱口 政也**  
(高知大学)



- ① 和歌山県新宮市三輪崎
- ② 家庭医(その地域で求められるもの)
- ③ 研修を盛り上げていこうとする、先輩研修医とそれを支えていこうという先生方の姿勢に感動をおぼえたため。
- ④ 研修は研修医が作る。研修医には、研修医にしかできないことがあるはず。今できることを一つ一個やっていく事で、耳原総合病院を盛り上げていきたい!!

まつしま ひでゆき  
**松島 秀幸**  
(大阪市立大学)



- ① 大阪府羽曳野市
- ② 総合内科、神経内科
- ③ 患者さんのことを第一に考え、一人ひとりが理論立てて医療を行い、常に向上を目指し職場に笑顔が溢れる病院であったから。
- ④ 「自分」の為の研修ではなく「今、目の前にいる患者さん」「将来自分の目の前にいる患者さん」の為の研修になるように努めたい。出来ないことを恥じ、悔いではなく、何故出来ないのか出来る先生方との違いは何かを考え、日々成長したい。

まつせ ふさこ  
**松瀬 房子**  
(愛媛大学)



- ① 長崎県佐世保生まれ、大阪府吹田市育ちです。
- ② 救急、集中治療、家庭医療、総合医療
- ③ 東日本大震災の支援に行った宮城で、大阪民医連で働く看護師さんに出会い、とても素敵な方だったことがきっかけで、耳原総合病院のことを知りました。実際に耳原総合病院を見学したときには、スタッフの方々がとても生き生きとしたことが印象的でした。自分もこんな素敵な人達に囲まれ、その一員として一緒に働きたいと思い耳原総合病院を選びました。
- ④ 自ら積極的に学びにいく姿勢を忘れず、一つ一つ着実に取り組んでいきたいと思えます。医師として必要とされるスキルはもちろんですが、患者さんやその背景などをきちんと捉えていく視点を身につけ、チーム医療を実践できる医師になれるよう頑張りたいと思います。

みたけ あまね  
**三武 普**  
(旭川医科大学)



- ① 東京都大田区⇒北海道旭川市
- ② ER(救急外来)、総合内科
- ③ 病院が柔軟性を持ち、どんどん発展していく印象を受けた。救急、教育が私にとって魅力的であり、また、病院の方向性にブレがなく、「患者さんを支える」という自分の志もブレることなく、2年間研修が出来る様に思えた。ロールモデルとなる先生と出会えたのも大きかった。
- ④ どのような医師になるかわからないが、少しでも理想に近づきたい。そして志を高く持っていたい。同期を頼りにしてしまおう様に思うが、しっかり自分も成長して耳原総合病院の研修が後輩達により魅力的なものになれる様、邁進していきたい。

もうり ようすけ  
**毛利 陽介**  
(大阪市立大学)



- ① 大阪市
- ② 呼吸器内科、神経内科
- ③ 研修医に対する教育や指導体制がとても充実しているため。学生時代に関西合同カンファレンスや耳原総合病院でのアドバンスオスキーなどの勉強会には合計10回程度参加させて頂きましたが、どれもとても勉強になったのを覚えています。
- ④ 技術や知識だけでなく、患者さんに対する接し方や話し方などの全てを一つでも吸収できるように、頑張っていきたいと思えます。積極的に参加し、多くのことを学んでいけたらと思っています。

# 循環器内科 地域全体でチーム医療を展開



耳原総合病院 循環器内科 部長 石原 昭三

当院の循環器内科では、心臓血管外科と協力し、狭心症、心筋梗塞(急性期、慢性期を問わず)などの虚血性心疾患、不整脈、心不全、弁膜症、心筋疾患、心臓疾患などあらゆる心疾患を対象に治療を行っています。さらに高血圧症、大動脈解離、大動脈瘤などの大動脈疾患や、閉塞性動脈硬化症、頸動脈狭窄症、肺塞栓症、下肢深部静脈血栓症など、すべての心血管系の疾患を診療対象にしています。

## 心臓カテーテル検査(CAG)、カテーテル治療(PCI)、および末梢動脈治療(PTA)

ほとんどの症例で、上肢(橈骨動脈)からのアプローチを行っており、負担軽減に努めています。急性心筋梗塞症例に対しては、24時間365日体制で緊急カテーテル治療に当たっています。また高度な石灰化病変に対するロータブレードの使用、完全閉塞病変に対する逆行性アプローチなど、複雑病変に対する治療にも取り組んでいます。閉塞性動脈硬化症(腸骨動脈・大腿動脈)や、腎動脈狭窄などの末梢動脈疾患に対してもカテーテル治療を行っています。

## 不整脈の診断および治療

徐脈性不整脈に対しては永久ペースメーカー植え込み術を、頻脈性不整脈(発作性上室性頻拍・心房粗動・心室性期外収縮)に対しては、薬物治療およびカテーテルアブレーションによる根治療法を行っています。心房細動に対しては、適切な薬物療法および抗凝固療法を行うとともに、難治症例に対してはアブレーション(肺静脈隔離術)を検討しています。

## 心不全に対する治療

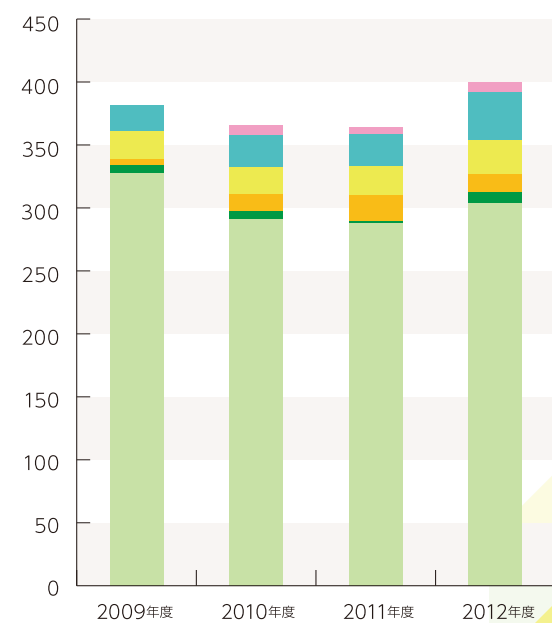
心不全に対しては薬物治療を中心に、必要に応じて冠動脈病変の治療(PCIやバイパス手術による血行再建)、心臓リハビリテーションなどを行います。また重度の心機能低下例については心室再同期療法(CRT)、外科的な弁膜症手術や左室形成術など、病状に応じて施行しています。閉塞性肥大型心筋症に対するカテーテル治療(PTSMA)も施行しています。

急性期治療が終われば、紹介医と一緒に二人目の主治医として診療を継続し、地域全体でチーム医療を展開しています。当院での検査や治療が必要な場合はもちろん、治療方針に悩むケースなど、いつでもご相談ください。

## カテーテル治療実績

2009~2012年度の統計

- ICD、CRT-D 埋め込み
- ペースメーカー 埋め込み
- 経皮的血管形成術(下肢、その他)
- カテーテルアブレーション(不整脈治療)
- (ロータブレード使用)
- 経皮的冠動脈形成術



# 病診連携に務め 患者さまのために頑張っています

泌尿器科  
ヤスダ ムネオ  
**安田 宗生**



本年4月から泌尿器科に赴任することになりました安田宗生と申します。

出身地は大阪です。近畿大学医学部を卒業後、近畿大学医学部堺病院で2年間の初期臨床研修を行い、近畿大学病院の泌尿器科に入局しました。その後、近畿大学医学部附属病院、済生会富田林病院と勤務してきました。そして、今年泌尿器科専門医を取得したうえで当院に赴任することになりました。

所属学会は、日本泌尿器科学会、日本臨床腎移植学会、日本透析医学会です。元々、学生時代は泌尿器科には正直興味がありませんでした。しかし、泌尿器科に研修する機会があり研修をしましたところ、泌尿器科の先生方また泌尿器科の奥の深さに魅力を感じ入局することを決心しました。実際に、実臨床を経験していく中で腎移植、悪性腫瘍、結石、感染症、

性機能、透析など本当に幅広く驚かされています。また、手術では近年、前立腺癌において腹腔鏡、ロボットが普及され始めています。ホルモン療法も新薬が次々に出ております。腎細胞癌も同様さまざまな分子標的薬が出ております。このように常に手術、外来ともに勉強しなければならない状態であり、あたふたと頑張っております。

また、近年病診連携が重視されていますが自分自身ようやく少しは周りが見える状態になりましたので、これからは開業医および近隣医療機関の先生方と密に連携していくよう努めていきます。まだまだご迷惑おかけする事がありますが、みなさんと協力し患者さまのためにも頑張っておりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

## 新病院建設ニュース

新病院 立体駐車場建設

みんなであつくりよう

7月オープンめざし着々と

1月より着工した新病院立体駐車場建設。おかげさまで着々と工事がすすんでいます。6月末竣工、7月運用開始をめざしています。具体的な日程が決まり次第ご案内させていただきます。耳原総合病院にとってはじめての立体駐車場です。安全に・快適にご利用いただけるものにします。お楽しみに!

## ~外観で、何を伝える?~ 新病院 外観検討会

新病院の外観について、なにかシンボリックな文字やイラストを外壁にあしらうのか否か?など未決定な課題について検討会を行います。

日時:5月18日(土) 14:00~  
場所:耳原総合病院 地下1階 合同カンファレンスルーム  
参加対象:新病院外観にご関心のある方ならどなたでも

## 家族の命を救う力、あなたも身につけませんか

# 小児の心肺蘇生法講習会

一般の方を対象とした、人工呼吸法と心臓マッサージ法の講習会です  
※小児は1歳~8歳のことをいいます

日時 2013年5月18日(土) 午後2:00開始 4:00終了  
会場 みみはら高砂クリニック 3階多目的室  
参加費 無料

申込締切日 2013年5月10日(金) 午前中  
※定員20名になりしだい締切らせていただきます

「子どもが息をしていない!!!」万が一こんなことが起きてしまった時、あなたはどうしますか? まず最初にあなたが心肺蘇生法を行うことで、お子さまの命が救われるとしたら...多くの方が心肺蘇生法を身につけ、地域の「救急の輪」をつくりましょう。

お申込み、お問い合わせは 耳原総合病院 医局(足田) まで  
電話 072-241-0501

※受講の際は、軽装(ズボン)でご参加ください。  
※準備の都合上、事前にお申し込みください。

主催 社会医療法人同仁会/耳原総合病院  
共催 みみはらライフサポート委員会・みみはら高砂クリニック